

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第38週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

- 対象期間

令和4年 第38週分 9月19日～9月25日公表分

- 症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の県内の患者等発生状況」において
上記期間に富山県内で報告された症例

→ 2,829例、県番号124,291～127,119

- 情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の県内の患者等発生状況」より、次の情報を
まとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

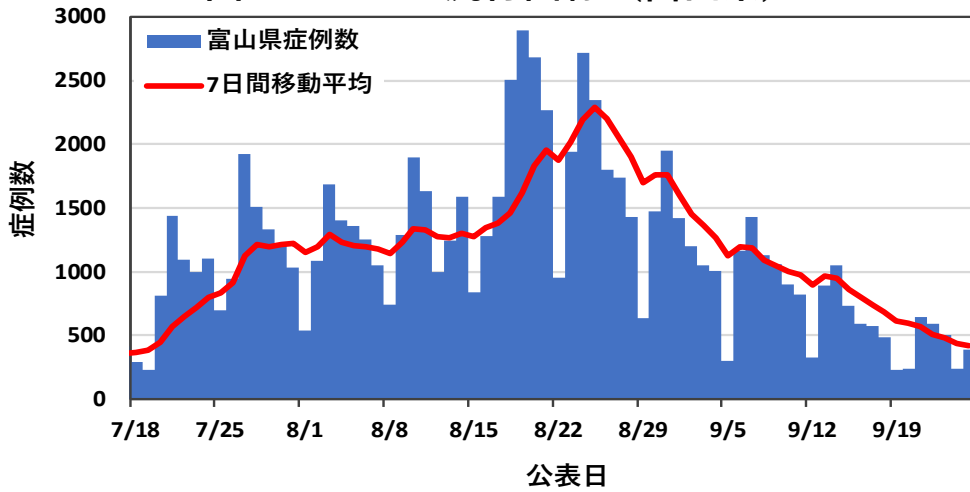
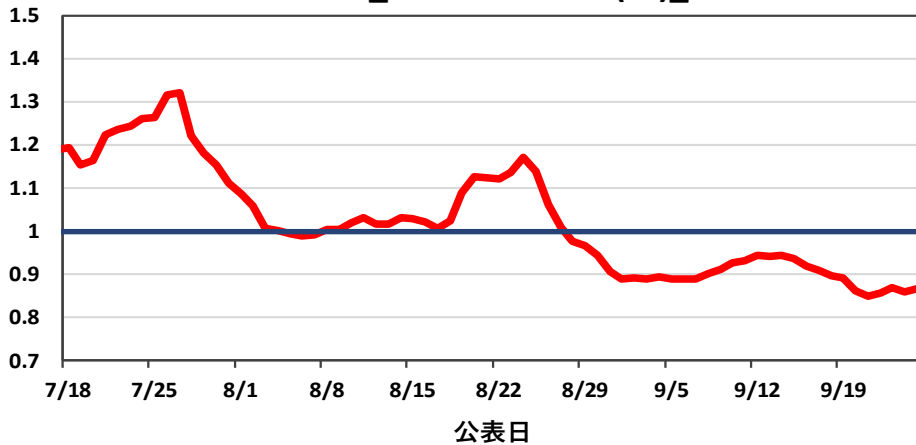


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、38週）

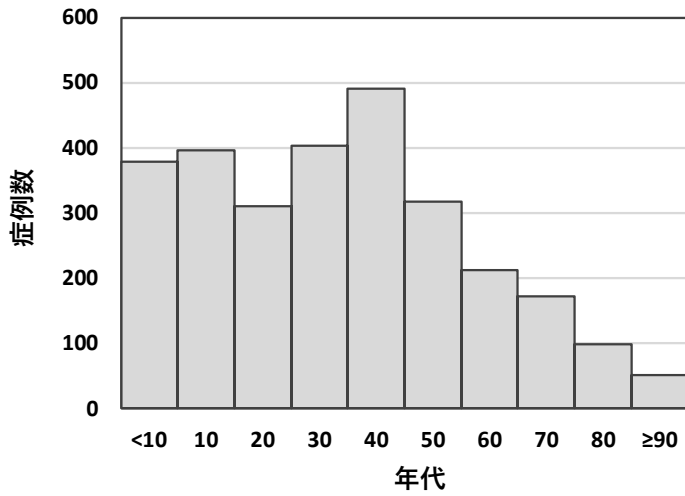


図4. COVID-19年代別割合（富山県、38週）

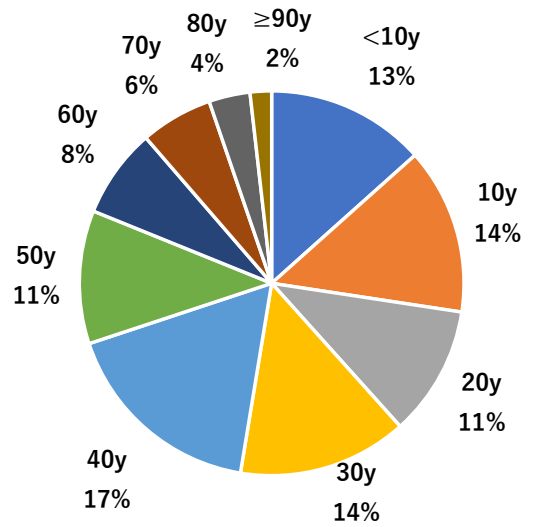


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

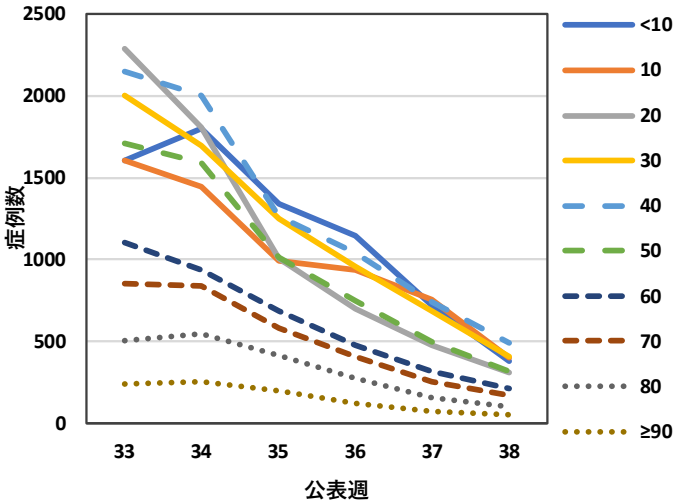
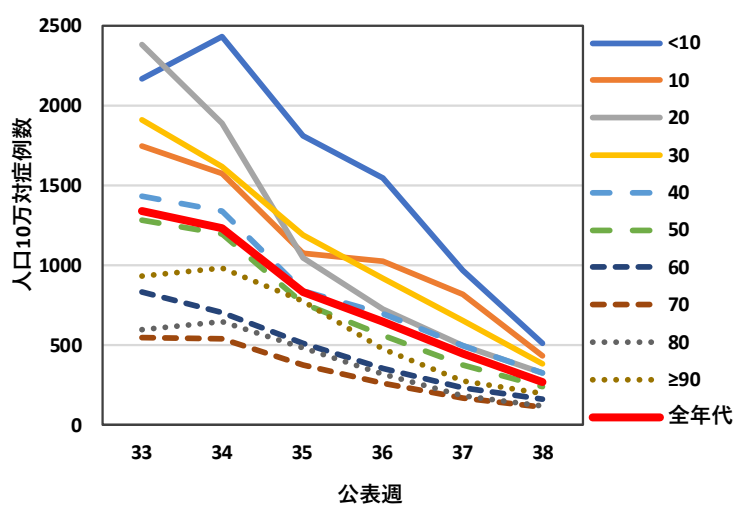


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



9月25日時点の所見と考察

- 第38週の新規報告数は、2,829例。先週3,594例から減少した。9/25時点の7日間移動平均は415例で減少傾向が続いている。
- 実効再生産数（図2）は、8/28以降1.0を下回っており、0.85~0.9の間で推移している。
- 第38週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。40歳代（490例、17%）が最も多く、次いで30歳代（403例、14%）、10歳代（396例、14%）であった。60歳以上の割合は20%（534例）であった。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。全ての年代で減少傾向が続いている。